夕刊
京城日報
京城府大平通一丁目三十一番地　發行所 京城日報社
寄贈

朝鮮軍司令官に 中村大將親補さる

小磯大將は參謀本部附

陸軍定期大異動

【東京電話】事變下における陸軍定期大異動は六日板垣陸相より上奏御裁可を仰ぎ内命を發せられてゐたが、愈よ十五日午前十一時陸軍省より發表された、而して今回の異動は戰時中であるため進級を除き轉補は極めて一少部分にとゞまる筈であるが、その内容は質量とも近年稀に見る大異動であつて、長期戰に對應する陸軍の陣容は全く整備充實して一段の強化を加へたものと見られる

十五日午前十一時 陸軍省發表

今回の異動は特に實戰の成績を重視して、有爲非凡の士を抜擢しこれを適材に配し、また教育機關の充實をはかり以て長期聖戰の遂行に萬遺憾なき内容を整頓強化せられたり、主なる進級異動左の如し

御進級
任陸軍少將 陸軍歩兵大佐 李王垠

轉補
補朝鮮軍司令官 陸軍大將 中村孝太郎
參謀本部附被仰付 同 小磯國昭
補西部防衛司令官 陸軍中將 松井命
補東部防衛參謀長 陸軍少將 中井良太郎
補中部防衛參謀長 同 加藤怜三
補西部防衛參謀長 同 西村利温
補電信補充部本部長 同 野澤北地
補教育總監部本部長 陸軍中將 山脇正隆
補教育總監部第一部長 陸軍少將 神田正種
補教育總監部第二部長 同 野田謙吾
補工兵監 同 桑原四郎
補陸軍士官學校長 陸軍中將 山室宗武
補陸軍歩兵學校幹事 陸軍少將 國崎登
補陸軍野戰砲兵學校長 同 前田治
補陸軍重砲兵學校長 陸軍少將 太田勝海
陸軍中將 値賀忠治
補陸軍航空技術學校長 陸軍少將 小畑英良
補明野陸軍飛行學校長 同 井出鐵藏
補陸軍自動車學校長 同 和田盈
補陸軍工科學校長 陸軍中將 内田莊一
補陸軍砲工學校長 陸軍少將 天谷直次郎
補仙台陸軍教導學校長 同 和泉洋雄
補騎兵監部附 同 畑勇三郎
補砲兵監部附 同 秋山德三郎
補工兵監部附 同 武内俊二郎
補輜重兵監部附 同 木村經廣
補陸軍工兵學校幹事 陸軍少將 西原貫治
補陸軍習志野學校幹事 同 木谷資俊
補陸軍重砲兵學校幹事 同 大津和郎
補陸軍通信學校附被仰付 同 石井昌一
補陸軍砲工學校砲兵課長 同 下野一霍
補陸軍大學兵學教官 同 櫻井康
下志津陸軍兵學校附被仰付 陸軍少將 板花義一
補憲兵司令官 陸軍中將 田中靜一
同 伊藤義雄
補旅順要塞司令官 同 小泉恭次
補鎭海要塞司令官 陸軍歩兵大佐 赤柴八重藏
補陸軍士官學校生徒隊長 陸軍少將 西原八三郎
補陸軍豫科士官學校生徒隊長 同 麗森孝
補長崎要塞司令官 同 栗飯原秀
補基隆要塞司令官 同 田村元一
補對馬要塞司令官 同 岩倉卯門
補陸軍兵器本廠長 同 三村友茂
補陸軍造兵廠與務部長 同 渡邊正夫
補陸軍造兵廠東京工廠長 陸軍少將 長谷川治良
補陸軍技術本部第二部長 同 加藤一勝
補陸軍造兵廠名古屋工廠長 同 木村弘人
補陸軍省造兵廠小倉工廠長 同 白石司馬太
補陸軍省整備局長 同 上月良夫
補陸軍省人事局補任課長 陸軍歩兵大佐 小松光彦
補陸軍省人事局恩賞課長 陸軍歩兵大佐 佐々眞之助
同 岡田靜之助
補陸軍省兵器局銃砲課長 陸軍々醫大佐 藤田調
補陸軍省軍務局醫事課長 陸軍航空兵大佐 佐藤賢了
補陸軍省新聞班長

△進級

任陸軍中將（各通）
甘粕重太郎　藤井洋治　本間雅晴　安藤麟三　嵯峨徹二　辻邦助　値賀忠治　中川泰輔　田中靜壹　土橋一次　伊藤義雄　内藤一　小泉恭次　長瀬武平　淺川一衛　塚田攻

任陸軍主計中將（各通）
陸軍主計少將 矢部潤二
同 鈴木熊太郎

任陸軍少將（各通）
大妻茂治、栗山富太郎、十川次郎、北島驥子雄、山内篤、根本博、畑勇三郎、渡邊正夫、石井昌一、倉茂周蔵、武内俊二郎、及川源七、林茉松、高橋良、中島今朝吾、宮川方義、下枝金之輔、中島九二郎、片桐茂、今井文二、西原貫治、米山久馬、今井文一、助川靜二、坂西一良、常島篤、高橋多賀二、杉本理太郎、脇坂次郎、石丸嘉一、岡崎清三郎、岡本鎭臣、田中正平、田尻利雄、岩倉卯門、神田正種、山田鐵二郎、大野宣明、板花義一、大津和郎、長谷川美代次、村井俊雄、芹川透、飯島茂、岡田資、桑名卓男、山本源右衛門、内山英太郎、野邊重三郎、松井源之助、櫻井俊三、鵜野傳、小林恒一、森脇經太郎、東榮治、鈴木謙三、高橋重三、酒井康、佐藤要、本郷義夫、湯原均三、竹下義晴、長谷川治良、加藤怜三、永津佐比重、佐野忠義、丸山政男、馬場亀格、猪股吉蔵、鈴木宗作、酒井鎬次、沼田多稼蔵、井直文、奈良晃、鷲津鈆平、一、澄田睞四郎、青木成一、土橋勇逸、柳川悌、加藤守雄、森本伸樹、木谷資俊、河邊虎四郎、伊佐一男、栗田信一、馬場正郎、串淵多一、上村幹男、西原八三郎、有村恒道、今村四八、木村經廣、大迫通貞、秋山德三郎、野田謙吾、瀬戸俊二、森田範正、森永武雄、鈴木敏一、横山勇、佐々誠

任陸軍主計少將（各通）
稲葉辛、藤村明夫、秋澤徳、石田壽男、迫榮吉、西原貞、青木榮吉、栗橋保正

任陸軍々醫少將（各通）
中野鉄治、拇尖信太郎、吉益哉遠、平野祚、安藤快平、小宮山友助、木村虎次郎、家原小文治、大島敬三、奥田四郎、朝川敬夫、河西鄕三、青木九一郎

任陸軍獸醫少將（各通）
鷲尾靉、小笠原淳、武富三朗

典型的武人
中村大將は 中山軍經理部長語る

今回朝鮮軍司令官となつた中村孝太郎大將は大正五年少將のころ、南總督が軍司令官の時參謀長として朝鮮軍司令部に就任した由緒があり、文官各方面にも舊知の人が多いが、中にも中村大將を迎へて感慨一入深い朝鮮軍司令部經理部長中山少將は

中村大將は謹嚴そのもの、典型的武人で、只管私達は閣下の高德をお慕ひ申上げてゐました、閣陸下半島鎭めの軍長官としてこゝにお迎へ致しますことは誠に嬉ばしいことです、私は在任日淺く中村大將が南大將の軍司令官時代の參謀長並に旅團長としての閣下を知りません

中村大將略歷

中村大將は石川縣の出身、明治卅五年歩兵少尉に任じ非常卅九旅團長、朝鮮軍參謀長、陸軍省人事局長、支那駐屯軍司令官等を歷任し教育總監部本部長から昭和十一年林内閣には一時陸相の要職に就き、東部防衛司令官を經て過般大將に累進と同時に軍事參議官專任となり今日に及んだものである

小磯大將惜別式
同將軍は十八日赴任

朝鮮軍司令部では十五日午後二時半司令部全職員は今回參謀本部附となつた小磯大將を迎へて惜別式を行つた、將軍は在任二年八ヶ月の思出の職員を前にし感謝の挨拶を述べて後、全職員に送られて軍司令部を去つたが、送られる將軍の眼にも迎える職員の眼にも相似た惜愛の涙が光つてゐた、なほ將軍は來る十八日午後四時十五分京城驛發「あかつき」で家族同伴赴任の豫定

小磯大將 内閣參議か

【東京電話】内閣參議の補充については近衞首相の手許に於て慨重詮衡を進めてゐたが漸く關係方面との折衝その他諸般の手續も了したので近く正式任命の模樣である

しかして今次の補充に當つて陸軍二名、海軍一名、民間一名その他一名となる模樣で、大谷拓相はるが、小磯、阿部兩大將が有力であり、海軍側は加藤寛治、中村良三大將のうち加藤大將に落着くはずで、また民間側は各務鎌吉氏が起用されるものと見られる

既に決定を見てをり陸軍側は小磯國昭、阿部信行、松井石根三大將、柳川平助中將などが擧げられてゐ

新舊朝鮮軍司令官＝上は中村孝太郎大將 下は小磯國昭大將

山西作戰進展す
南部に敵の集團的存立なし
今後は遁走兵掃蕩へ

【石家莊十五日同盟】山西作戰はくて所期の目的の大半を達成し、非常に進展し今や山西南部に敵集團的存立を見得ない、我軍により再び立つ能はざる一大痛擊を加へられたる敵の大半は黄河を渡つて南方に遁走、一部は山中に遁入、か

は〇〇なる敵に向つても徹底的殲滅の師を進むべく引續き爾後の攻擊を準備しつゝ殘敵の動向如何に應じ重點が向けらるべきも、我軍は此の遁走せる敵の盛動する限りに於ては斷乎として〇〇東方、〇〇若く

[illegible]

ソ聯極東軍
滿蘇國境に集結

【新京十四日同盟】去る十二日蘇聯極東軍十二名は不法にも滿洲國東部國境琿春の南方四十キロの國境線を突破し、三キロ餘も滿洲國領に侵入し來り長池西側の張高峰に軍事的工事を開始した、一方同峰の東方斜面には約四十名の蘇聯兵が前線陣地を構築集結待機し、更に同峰北方斜面にも約三十名の蘇聯兵が天幕露營を行つてゐる、なほ同峰東方二十キロの香山堂（蘇聯領）には多數の赤軍が集結するなど蘇聯は最近頓に滿洲國々境方面の兵力を增加し、各陣地間には軍馬の往來頻繁を極め無氣味の空氣が漲つてゐる

川岸中將東上

【下關電話】北支戰線に輝く戰功を樹てたる武勳を立て今回東部防衛司令官に榮轉した川岸文三郎中將は、朝鮮の傷病兵を慰問し十四日午後七時卅分下關入港の關釜連絡船にて懐しの内地に上陸第一歩を印し山陽ホテルに少憩の後同夜八時半

朝鮮の官民 各位に感謝
川岸中將語る

【大阪支局特電】來阪の川岸中將は語る

朝鮮では南總督、小磯軍司令官初め官民諸君の極めて熱誠なる歡迎を受けて實に感謝に堪へない、どうか貴紙を通じて朝鮮の官民各位に深甚の感謝の意を傳へて下さい

發特急富士にて東上、途中大阪に立寄り傷病兵並遺家族を訪問の上十六日特急富士にて晴れの東京入りをなす筈

天地玄黄

赤に染つた蔣さん隠した懐の手を出して伊太利を錦にする
×
とモスコーでは支那赤軍代表とやらが廿名一網打盡
×
頼みのドル箱イギリスがたうとう見放す、はてな！
×
巡査は下駄脱ぎ、お巡さんは草鞋履き、府尹さんは丸坊主
×
今期壯丁の徴兵檢查字島は悉く總たと吉田大佐の言顔もしくも力強し
×
その意氣、昔日のインテリを解脱、ペンをシヤベルの學生勤勞隊、全鮮に活の行進曲朗か
×
水陸輸出開始を迫つて半島に迫るの感あり、油斷ずる銃後の國民
×
宣傳へタな日本に漸く大衆報院設置の肚、今からでも遲くはない
×
世界早廻りヒユーズ機最終コースたるニユーヨークに近く、金持藝としては大したもの
×
オリンピツク東京大會中止、乘客馬司として止むなし

紅繪曼荼羅 (85)
海音寺潮五郎 作
富永謙太郎 繪

梅雨空（一）

篠塚兵衛は、ふつと眼をさました。

まだ暗い夜だ。武骨な兵衛にふさはしからぬ朱骨の雛行燈が、ぼうとした光をひろげて、これもまた不似合な華美な緋夜具を夢のやうに朧ろに照らしてゐる。外は小雨が降つてゐるのであらう。降りそゝぐ雨の音はしないが、霤を傳ふ雨滴の音が、躊躇しながら穏かにきこえて來る。

どうしてこんな時刻に眼がさめたか？

（たしか、誰かゞ呼んだと思つたが）

兵衛は、大きい眼を瞠つて、行燈の描く天井の輪を見つめながら耳を澄ました。

やうな顔をゆすぶられるまゝにふらくと泳がせながら、

「み、み、み、水を、水を……」

兵衛にはそれも聞えない。

「殿がどうなされたのだ。殿が……あ！お前様は本多様……」

兵衛にも、相手が誰であるか氣がついた。たつた一度、江戸について日に會つたきりだが、初對面にあの爭ひをしただけあつて、頭にも名も記憶に鮮かにきざみつけられてゐる。

「み、み、水を……」

「どこだ、どこだ、どこで喧嘩なされたのだ――ちえツ――」

兵衛は、相手をそこに突つ轉ばして置いて、勝手元の方に走つて行つた。

てつきり喧嘩――兵衛はさう思つた。この前のことで本多の人物については大抵わかつてゐるつもりである。殿が、この男を取卷きにつれて、遊里かどこかで遊んでをられる時に喧嘩がはじまつたものと兵衛は考へたのである。

暗い中で、いろくなものにつき當りながら、柄杓に水を汲んで來ると、廊下の所に、網絡と女中が不安げに立つてゐた。

「なんでございます」

「わかりませぬ。喧嘩でござるべいか」

言ひすてゝ、兵衛は玄關に走りつけて、式臺にくつたりとうつ伏せになつてゐる本多を抱き起した。

「水を」

「汲んで來たでござる」

と飲ませると、咽せて、嘘をしながらも、本多はやつと少し落ちついて來た。

「まあ、本多様」

網絡も、小娘も、柳石ぎまで、出て來たが、ふと、網絡は開け放した玄關の戸の間から外の闇を見ると、悲鳴を上げた。

「あれ！誰かのぞいて！」

すると、はたして聞えて來た。

「……今晩は、今晩は、今晩は」

と戸を叩くのだ。

兵衛はむくりと起き上つた。

「……今晩は、今晩は、今晩は」

「おゝ」

手早く宿物を着かへて、刀をさげて、行燈をぶらさげて、兵衛は玄關に出て行つた。その間も、戸を叩きつゞける音はつゞくのだ。

「どなただ」

「拙者、拙者でござる。本所の……」

「拙者といふのはどなたぢや」

「さういふのは、濱川殿御家來か。濱川殿の一大事が出來……」

「なに！」

どうして、土間に飛び降りたかも兵衛は意識しなかつた。掛金を外す間ももどかしく、がらりと引開けると、生命のない傀儡人形のやうにのめりこんで來た。

「殿がどうなされたと」

胸をつかまへて、ゆすぶると、相手は、もとより切れたざんばら髪の亂れかゝつた蒼白い死人の

快男子（88）

大島伯鶴演 今村恒美畫

辭職（一）

仁禮が急に辭職をするといひ出したので、小林校長は驚いて、

小「仁禮君、突然にどうしたことです」

仁「イヤ北の新地の藝者から、我輩のところへ手紙が來たのです、それゆゑ責任を以て、潔く辭職します」

小「ハ、ア、藝者から手紙……仁禮君、君は大分乱暴をしてゐるやうですが……」

といつてゐるところへ石田が入つて來て、

石「校長、どうも怪しからん、仁科君が僕を毆打したです」

小「又喧嘩か、どうも困つたものだね君方は……」

だん〳〵話を聞いて見ると、仔細が分つた。

小「醫者だといつても一の職業でそこから手紙が來たからといつて法律上の問題ではない、只道德問題として……」

仁「校長、校長、あなたの思召は有難いですが、假令その内容は何等疚しいことはないにしても、藝者から教員のところへ、而も學校へ手紙をよこすッちうことは、許すべからざることです、その責任を負ふて我輩潔く辭職しようといふのです、校長は我輩を慰留して下さる、その御厚志は有難いですが我輩はこの石田といふ奴が嫌ひなのです」

石「奴とは何だ」

仁「奸佞邪智といふのはこの男です、こんな者に教へられた兒童は誠に不幸です、かゝる不德漢と同僚するを好みませぬ、仁科は今日を以て職を去ります――只一言、この石田は我輩のところへ來た手紙を、濫りに竊取して之を開封したといふ點は、許すべからざる事だらうと思ひます、此點御取締を請ひます、長々御厄介でした、左様なら――ヤア、諸君、我輩は今日辭職した、これで我輩の心中は實に光風霽月ぢや、イヤ失禮」

第一本の仁禮半九郎、床板を踏み鳴らして堂々と歸つて行つてしまひました。

校長や同僚が間へ入つて、いろ〳〵宥めて見たが、仁禮は頑と肯きませぬ。そこで仁禮の辭職を認めて、石田教師も校長の計らひで左遷的に他の學校へ轉任を命ぜられることになりました、それは後のお話。

こちらは北の新地の藝富の一間に待つてゐる小芳、

『あゝ待たるゝ身になるとも、待つ身になるなとはよくいつたものだね、本當にどうしたんだらう』

その日夕方まで待つても仁禮が來ないので、酒をあほつて中ッ腹で自分の家へ歸つて來た小芳が、らッぴし、家の者や雛子に八當りをやつてゐるところへ、カラ〳〵カラと門口が開いて、

『御免ッ』

『ハイ』女中が出て見ると、中折の洋服にオーバー、中山の高帽子金鎖金時計、ステッキを持つた立派な紳士がヌーッと立つてゐる。

女『いらつしやいまし――あの手前共はお料理屋ではございませぬので、お料理屋ならこの二三軒先の……』

仁『イヤ料理屋を聞きに來たのぢやない、さつまや小芳ッちう藝妓の家はこゝかね』

女『ハイ……』

仁『イヤさつまや小芳ッちう藝妓の家はこゝかッちうのだ』

女『左樣でございます』

仁『小芳はゐるかッ』

女『ヘイ姐さんゐやはります』

仁『おまはん、貴樣小芳の妹か』

女『イヽエ女中で……』

仁『それなら小芳は主人ではないか、主人を捉へて姐さんちうことがあるか、我輩が來たと早く小芳に取次げッ、氣を附けーッ』

女中びつくりして奥へ駈込んで來て、

女『姐さん大變です、早くお逃げなさい』

東亞産業株式會社 愈よ設立に決定

本府、近く民間側の會同開催

半島の對北支貿易促進

産業株式會社を北京に設立することに決定

朝鮮の對北支貿易振興、産業開發並に北支における朝鮮人の堅實なる活動を促進するため、朝鮮關係の資本から成る産業會社を現地に設置すべきであるとの議がさき頃擡頭したに鑑み總督府では北支派遣部及び朝鮮貿易協會の協力を得て研究中のところ愈よ資本金二百萬圓の東亞

支店を京城及び天津その他に置き株式は主に鮮内から募集する方針で既に大體の目星がついてをり、近く鮮内の有力なる實業家の會同を得て設立に關する具體的協議を行ふこととなつた、しかして本會社は朝鮮及び北支の重要物産の貿易、産業開發を圖るのみならず北支に於ける朝鮮人を産業につかしむる重大使命を有するものでこれが設立は各方面から注目されてゐる

半島産業のため 大いに盡したい

有賀氏語る

高周波社長に就任

日本高周波重工業社長に就任した有賀光豊氏は左の如く語る

實は殖銀辭任以來悠々自適の生活をする積りでゐたが御縁があつて再び朝鮮に關係を有する仕事に關係することになつた、この事業は今更改めてお話するに及ばないがわが國の最も必要とする鋼鐵の供給に貢獻、軍需品は勿論餘力があれば民間各種の資材供給に當るためには現在の工場能力を第二期計畫に止らず三、四倍の擴張をなす必要があると思つてゐる殊に電力さへ豐富に入手出來れば朝鮮といはず内地といはず何處でも工場を建設したい現に朝鮮の中央部は電力が不足してゐるので漢江水力電氣を計畫してゐるわけであるがこれに關聯して工場を適當なところに建設し度いと考へてゐるとにかくこの事業により朝鮮の重工業のため又産業のため大いに盡し度いと考へてゐるこの點大いに諸賢の御援助を願ふ次第である【寫眞は有賀光豊氏】

(並に營業目的の變更)
二、取締役缺員につき之が補缺選舉の件
三、代表取締役選任の件
四、退任取締役に對し慰勞金贈呈の件

を附議、取締役社長に有賀光豊氏取締役に小林秀雄氏を選任、代表取締役に有賀光豊、高橋省三兩氏を選任、退任取締役に對する慰勞金贈呈の件は議長に一任して散會

高橋專務語る

日本高周波重工業高橋專務は臨時總會後左の如く語る

今回有賀氏を社長に迎へたことは吾々の永年の希望を達したわけでこれに過ぐる喜びはない、有賀氏の多年の御援助に對して

は吾々としても協力一致努力してこれに報いたい、なほ前會長砂田重政氏は政務多端の折柄事業に關興し度くないといふ本人の希望であり又小林前社長は僅かも勝れず一切を令息に讓り度いといふ御希望であつたのでこの際辭任されたわけであるが非

高周波總會

社長に有賀光豊氏選任

日本高周波重工業では十五日午前十時より長谷川町本社において臨時總會を開き

一、定款變更の件(會長制の廢止

商議の奮起要望

中小商工業の轉換更生策

戰時經濟下における物資の統制は綿類を初めとして各種重要物資に强力に行はれるに至り、これがため中小商工業者は將來相當の打撃を受けることは避け得ない狀態となつたので總督府では輸産、財務兩局協力の上これら打撃の甚だしいと思はしき者に對しては軍需工業或は貿易工業への轉換策並に救濟策につき研究することとなつたので官廳側の對策は大體軌道に乘つたわけであるが

中小商工業者を相手とする救濟策の樹立に當つては物資或は原料の取得狀況、營業の轉換の可能不可能、從業者の狀況、救濟施設等々詳細に調査を斷行して、ただ救濟に終ることなく自力による更生を第一義として窮狀打開の道を開かねばならぬので

官廳のみの調査研究にのみまかせて置くことなく商工業の代表機關たる朝鮮商工會議所等に對しても緊急理事會を招集して可及的速かに中小商工業者對策を眞劍に研究すると共に前記の如き業者の現況調査に乘出し官廳側とタイアップ

して政策の方策樹立に協力すべきであるとの聲が擡頭するに至り注目されてゐる、右につき伊藤理事は語る

さういふ點に氣がついてゐないわけではない、實際はまだストック品もあり商業界も左程打撃を受けてゐないが將來は相當困つて來るので轉換とか代用品工業の振興とかの對策を樹立せねばならぬので我々も中小商工業者の狀況調査に乘出する心算である、來る二十二日咸興で朝鮮商議の定例理事會が開かれるが同地でも「戰時統制經濟の强化が中小商工業に與へる影響と之が對策」につき懇談するやうにしてゐる

京城の家賃【下】

建築取締緩和の必要

京城の借家貸賃料高價に對し大邱は過去三ケ年間家貸の値上げは認められず、新に貸賃契約せし土地の賃貸料が稍々値上を見たのみに止り、平壤府は工業都市化するに伴ひ稍々値上げの傾向を示し咸興は平均二割方の値上げとなつてをり今や鮮半島第二の都會南府は市街地計

畫令實施による建築制限、或は建築材料の上騰等により新築殆どなきに反し人口は年々二萬餘の增加を見つゝあるととて住宅拂底し個人所有のものの新規契約は從前より一割乃至二割方の値上りを示しつゝある現況で、彼我を對照して見ても京城の高家賃を窺知することが出來る

かうした情勢下にあつて當局では更に木材の使用、配給、價格の統制を斷行すべく目下準備を進めてをり大體總建坪三十坪以上の普通木材住宅を許可しない方針のやうであるといふのであるから建築材料一切の昂騰或は鐵骨の入手困難等と相俟つて益々建築熱は減退し家屋は拂底を來す一方と見るより外はない、從つて家賃は騰勢を辿ることは疑ひないといへよう

然らばこの住宅難を緩和するには如何にすべきかといふに、先づ
一、内地における借家法をもつて來て制令で公布すること
二、建築取締の緩和と急速許可方針の堅持
を擧げるべきだと思ふ、勿論前者における内地の借家法は大正十年四月に公布したものであり東京地方の慣習を主眼として立法されたものであるから、それを直ちに朝鮮に引用するとは必ずしも當を得た策とはいひ得ないだらうが朝鮮の狀態を參酌して再檢討の上時代に即したものを可及的速やかに公布し貸借人を或る程度まで保護するの方策に出でれば家主側の抑壓に資するところ大なるものがあるは疑ひを容れない而して之と同時に考究されねばならぬことは絶對必要なだけの家屋は建てさせることである

久しく一般から要望されてゐる府營住宅の建設も一方法であらうが當局の制限内におけるアパート、小住宅は官民協力して、どしどし建設を促進するやう建築取締の如きも出來得る限り緩和し建築許可までに少くとも數ケ月を要するといふが如きことなきやう官民お互ひに留意し以てこの住宅難緩和を圖り、延いては銃後府民の生活安定を圖るべきであると思ふ

無盡も低金利へ

愛國無盡は修正認可

朝鮮無盡協會ではさきに本府財務局に對し愛國無盡(給付三百圓、期間三ケ年、掛金月七圓八十錢)の認可を申請中であつたが財務局では貯蓄の奬勵積立金及び金融組合の定期積金と實質上何等變るところがないので金利水準化の見地からこれを認めないのが良いといふ方針を決定し奬勵積金の如く受入金額の三分の一を供託し現金又は有價證券で保有するやう條件を附し掛金を七圓九十錢とする

常に特別の情に堪へない

緬羊第二回

十六日入港

本年の緬羊輸入第二回分二千七百九十六頭は十六日元山、雄基の兩港に陸揚げされることゝなつた、而して元山の部千三百二十八頭は農林局大村技手が受取り平北を除く各道に配布し、雄基の部千四百六十八頭は岡井上技手が受取り忠北、全南、江原、咸南北の五道に配布することゝなつてゐる

昭和製鋼

八月末までに倍額增資

【奉天支局發】昭和製鋼所の大增産計畫は、その增産案の完成に伴ひ昭和十六年末までに鋼材約三百十三萬瓲と豫定されてゐるが、これが資金計畫については遲くも八月末までには滿洲重工業ならびに滿鐵の引受けにより倍額二億圓に增資を斷行、取敢ず本年度分としては兩者から各四分の一すなはち合計二分の一の五千萬圓の拂込みを期待してをり當面の第三、四期擴張計畫を遂行の方針であるがこれが五ケ年計畫の完成には約十億圓の巨額資金が必要とされてをり、今後五ケ年間に漸次五億圓にまで增資、拂込みによる方針であるが、殘餘資金は社債の發行によることになり、目下小日山昭和製鋼所長が東上、滿鐵の保證の下に興銀、滿鐵の諒解で新シンヂケート團の組織に活動中である、なほこれに伴ひ滿株の開放も要望されてゐるが、昭和製鋼所の國策的特殊性に鑑み一般株開放の如き放漫な讓渡は許されないので日鐵への讓渡機運が促進されつゝある

やう認可條件を附したところ協會側では掛金を上げては加入者が減るとの理由でこの計畫を放棄し從來の普通無盡に「愛國」の名を冠して無盡普及に當ることゝなつた模樣である、かくて無盡も低金利時代に逆行するの弊を除くこととなつて來た

二新品種追加

全鮮米取格付の内容

全鮮取引所聯合會は十四日、本年十月限より來年三月限に至る本年度產米の格付に關し協議の結果左の如く決定、此の旨總督府に申請した

一、格付は全部前年通り据置決定
一、仁川は新品種穀玉を追加、標準價格より三十錢上格
一、木浦に新種中神力を追加標準格上より十錢上格

七月一日現在 全國在米高

【東京電話】農林省發表―七月一日現在全國在米高は二七、六九二、九九七石で前年同期に比し五〇四、一七五石の增加(約二分)なり

增田朝運庶務課長昇任

朝鮮運送の取締役庶務課長增田平八氏は近く常務取締役に專任することになる模樣であるが、高瀨取締役公用課長はそのままである

總會を開催することに決定したが附議事項は左の如くである
一、上期諸決算案並に利益金處分案議決の件
二、理事二名任期滿了に付き改選の件
なほ理事二名中桜瀬理事は重任、色部理事は辭任すること內定しているが色部理事の後任は大體有力者より選出される筈である

朝鮮理研金屬認可

理研コンツェルン朝鮮進出は愈よ積極的となり資本金二千萬圓の朝鮮理研金屬株式會社を設立すべく豫て資金調整法による認可申請中のところ十五日正式に認可されることになつた、同社は工場を鎭南浦に設置し鋁鋼および各種輕金屬の精錬を行ふものである

中央無盡八分配

中央無盡では十二日決算重役會を開催、第二期決算定時總會を來る二十八日午後一時より同社樓上において招集することゝなつた、附議事項は第二期營業報告、決算書類利益金處分にして配當は八分配當である

工業技術者養成に補助

朝鮮工業協會では技術者不足に備へ昨年九月機械工及電氣工各百名宛本年四月機械工百五十名電氣工五十名を採用講習中であるが總督府では本年度分經費四萬二千八百圓を補助することとなり十四日指令を發した

殖銀野田、菊池兩氏辭任

朝鮮殖産銀行理事野田董吉、菊池一德の兩氏は十五日附を以て理事を提出したが種々語る

永々御世話になりました、長い銀行生活を去ることは淋しさ無量であります、家族の關係もあり當分は京城にゐる心算でゐます、今後の身の振り方については林頭取に一任して

鮮銀定時總會

八月十五日

朝鮮銀行では來る八月十五日定時

賀田商議會頭

內地視察談

賀田朝鮮商議會頭は東京、京都、大阪、神戸方面の視察を了へて十五日午前七時十五分歸任したが左の如く語る

今回の內地旅行は日滿實業協會朝鮮部會の御挨拶を述べ、又財界の動向を見るためだつた、内地は財界も政府の物資統制その他の計畫に共鳴してをり、民間もまたよく諒解してゐる、物資の統制によつて相當の不況を來すだらうが朝鮮においても内地と同樣軍需工業への轉換、貿易〔輸出〕への轉換、或は代用品工業の探究等に力を入れねばならぬと思ふ

日滿電氣協調

調査方依賴

日滿實業協會朝鮮支部では此程日滿間の電氣サイクル不統一問題につき朝鮮電氣協會に調査方を依賴すると共に鴨綠江を中心とする工業地帶設定問題につき朝鮮工業協會に調査方を依賴することゝなり十五日書面依賴狀を發送した、よつてこれが調査完了を見れば直ちに本部に報告し本部より正式に關係方面に陳情する事となつた

海外アンテナ

佛紙、孫科をあばく

西沙島問題等をめぐつて日佛間は目下頗る緊張してゐるが、近頃の佛紙アクション・フランセーズでは次の如く孫科の滯佛中の出來事を暴露してゐる―同府特使孫科は過般滯佛中しばしばマンデル殖民相と會見し財政援助及び軍事顧問派遣を懇請したとの報道を、佛國外務省は否定したが、ともかく諒山(廣西省境に近き佛印の都會)南寧(廣西省)間鐵道建設につき殖民相と駐佛支那大使の間に談合があり、印度支那政府が千五百萬法を受取つてをるのは事實である、右鐵道建設工事は既に着手されて、近くソ聯の軍需品は容易に支那へ輸送されることゝなるだらう、廣東空爆が問題になつてゐる際、この問題は必ずや日佛間に重大な事件を惹起するだらうがマンデル殖民相はまたもモスコーの指令に服するのだらうか

株式

下寄って横這ふ

後場引返す

前場　强硬裡に前日後引後今朝はオリンピック中止の報を入れ之を嫌氣して阪地の一齊下寄りに當所も朝新不申大新七四圓九と五安新東一二九圓九と一圓六安滿業七五圓二と八安鐘紡二一〇圓四と三圓九安と主力は一齊に下放れて寄付きあと戰局の進展を入れて新東は底意强硬にシ團の弗々買動に買支へは極めて强硬に無跌にも崩れず結局橫這ひに前場を終了した大引値段は鐘紡二一一圓三滿業不申新東一三一九圓九大新七五圓九朝新不申であつた

後場　鈍調裡に前引せる氣先阪地は硬調を傳へて當所は朝新三四圓一と二安鐘紡二一一圓八と五高大新不申新東一三〇圓丁と一高く寄付きあと益々好調に昂騰氣勢であつた

陷落待ち態勢

今週に入つて昇龍の一途を辿つて來た相場もどうやら一服商狀となつて來た折柄のオリムピック大會中止との決定の報を入れて氣分的な湊縮が感ぜられ長期戰への認識を更に深める等これらの報も材料として手傳はされて今朝寄付きの小反落場面となつた新東は一三〇圓台を割込んだが底意は極めて强硬を示して居り深押しもなさゝうに見える、漢口への進撃は益々急にして九江の混亂振りは言語に絕しその陷落は既に分秒を爭ふ有樣でありとの報にいくら締押しがあつても良い場面とは云ふても買方も積極的には買はれないものがあるらしいそれに蔣介石が英國に申込んだ二回に亙る借款も日本への感情を顧慮する結果拒絕するに決し愈々傳來の機會主義を取りお都合主義とでも云ふか英國の極東政策も轉換の色が濃くなつて來たやうである勿論老猾極まる英の謎の二股道かけての芝居は警戒せねばならぬが更に與情勢を導き展開せしめる樞軸の力と云ふものは結局我が毅然たる大方針であり斷乎たる行動に外ならぬそして諸外國のお節介なるものは事態を促進せしめこそすれ決して阻止し得ない然しご時局の利は常に我が頭上にある相場の大勢樂觀の論は常に此處にある問題は中勢的にはどうなるかと云ふ事である英佛ソ聯の援助が更に續けられ蔣の迷妄さめざる限り和平と云ふ事は望めない戰爭は持久戰の態勢に移り何經濟界の苦難時代は繼續されるものと覺悟せざるを得ない過去半歲に亙り無茶苦茶に買叩かれた相場としては買餘地は ないもの と見たいあつても下値は淺いであらうさりとて頭

本日ノ動キ

銘柄	中値
鋼管新	[illegible]
同	[illegible]
滿業新	[illegible]
第二新	[illegible]
日帝人	[illegible]
東人新	[illegible]
昭和新	[illegible]
日曹新	[illegible]
朝鐵	[illegible]
ドレツチ	[illegible]
京城電氣	[illegible]
西鮮電	[illegible]
滿州紡	[illegible]
日華紡績	[illegible]
日曹	[illegible]
電工新	[illegible]
日窒新	[illegible]
石川島新	[illegible]

明治町覺書

三日間騰げた相場も本日は一寸引緩んだ▲定石としてもこの邊押しがあつて良い處もすこしぐらゐ押すかと思つたら戻り直りも捗々しくなく寄後は頗る强硬なるものを 蔵してゐる▲人氣が轉換したか、それとも人氣を支へてゐる潜行的好材が含まれてゐると見るべきである▲それに最近著るしく萎縮しつゝあつた商品界が急激に勢ひを盛り返し生糸人絹と物凄い騰勢を見せてゐる▲引返し步調にある株式界がこれをしも好感しない筈はない▲もひとつ戰況の著るしい進捗でありそれから蔣の孤影悄然たるものが益々明々白となつて來つゝある事だ▲先づ英の對日態度に變化が現はれて來たし▲事情は著るしく明朗となつて來た▲中勢的に買有利の空氣が漸次濃厚化して來た模樣である

橫這ひに終る

オリンピック中止と云ふ人氣的な惡材料を入れて定石的には押し目のあつて良い場所とあつて今朝は諸株一齊に下寄りとなつて初まつたが押目にはシ團の買支えがあつて挺子入れは强靱なものがあり下げ兼ねる振合に寄後は見合に强硬な推移を見せ戰況の進展對外關係の好轉等に兎もすると上走らんとの氣配濃厚乍ら高値買進みは反資りに躊躇せられて伸悩むと云ふ有様に上も下も氣安く動けないので板挾みとなつて小市の一高一低となり結局揉み合ひに終始目先新規材料の刺戟を待つて動かんとの人氣であつた

雜株は平調

清算主力は滿ソ國境の不安オリムピック中止決定と惡材集積して引返しの出鼻を挫かれ反落して終つたが雜株界は成行眺めとあつて冷靜に平調を辿つてる
▲諸株概ね前値同樣と不變

株式シ團投資

當面は軍需株中心

シ團が弗々買出動してゐる、前週土曜の戻りは賣方の利喰にシ團の買が加はつたものだが、シ團は先づ二部の雜株を狙つてゐるやうだ軍需株は紡績、人絹などの平和株よりも下げが大きく、また整理の時期が早く來たので、こゝへ來て底入れの觀深く、既に投げ盡して

ゐるからである、これに反して、紡績、人絹等は何分にも基本事情が惡く、今後事態が明らかになるにつれて、一段の低落が豫想されるため、未だ底入れの時期ではないと見てゐるやうだ、從つて當面は軍需關係が買はれるわけであるが、保險その他の投資筋は未だ買入に充分の自信がない模樣で、シ團と協力するまでに至つてゐないその上、こゝでの買出動は繋ぎ株に向つてゐるやうなものであるから、その効果は大して期待出來ない、たゞ不安人氣の沈靜には役立つであらう、シ團は雜株の買支へが中心であるが、新東にも買玉を入れてゐる模樣だ、株式は目先多少戻りが入るかも知れないが、紡

半島に誇る證券市場

朝鮮取引所

十五日午前十一時入電 △高▲安

銘柄	値	銘柄	値
鮮銀新	[illegible]	二帝人	[illegible]
殖銀行	[illegible]	日レ新	[illegible]
中無盡	[illegible]	新日レ	[illegible]
朝鐵三	[illegible]	東人新	[illegible]
京南鐵	[illegible]	昭和絹	[illegible]
金鑛新	[illegible]	二倉絹	[illegible]
西鮮電	[illegible]	新興絹	[illegible]
東拓新	[illegible]	鐘帝人	[illegible]
朝製鐵	[illegible]	帝纖維	[illegible]
北鮮紙	[illegible]	△日紡新	[illegible]
パルプ	[illegible]	日華紡	[illegible]
滿纂新	[illegible]	東洋紡	[illegible]
アル新	[illegible]	同興紡	[illegible]
滿煙草	[illegible]	北樺炭	[illegible]
無煙炭	[illegible]	日石新	[illegible]
商船新	[illegible]	鋼二新	[illegible]
△蒲鐵	[illegible]	同二新	[illegible]
△同新	[illegible]	日立新	[illegible]
汐水新	[illegible]	日特鋼	[illegible]
日窒新	[illegible]	エク新	[illegible]
電化學	[illegible]	日產新	[illegible]
電工新	[illegible]	水產新	[illegible]
日曹新	[illegible]	日曹パ	[illegible]

七月十五日

銘柄	値	銘柄	値
鮮銀新	[illegible]	△高▲安 人造石	[illegible]
京南鐵	[illegible]	北樺炭	[illegible]
金剛山	[illegible]	日曹鐵	[illegible]
京電新	[illegible]	日石新	[illegible]
東拓新	[illegible]	△鋼二新	[illegible]
朝製鐵	[illegible]	日立新	[illegible]
無煙炭	[illegible]	神戸鋼	[illegible]
商船新	[illegible]	製鐵新	[illegible]
川崎造	[illegible]	東電	[illegible]
鑛水新	[illegible]	日發新	[illegible]
電化	[illegible]	水產新	[illegible]
ラサ新	[illegible]	日產ゴ	[illegible]
電工新	[illegible]	滿タバ	[illegible]
△日窒新	[illegible]	アルミ	[illegible]
日曹新	[illegible]	パルプ	[illegible]
日曹パ	[illegible]	滿工廠	[illegible]
九州曹	[illegible]	エタ新	[illegible]
日紡新	[illegible]	ディゼ	[illegible]
日華紡	[illegible]	滿業新	[illegible]
同興紡	[illegible]	日產化	[illegible]
二帝人	[illegible]	諸重二	[illegible]
二倉絹	[illegible]	製作二	[illegible]

滿ソ國境不安

羅津方面に於てはソ聯兵の不法越境事件に不穏の空氣漂へりとの報を入れ底入れ後反撥步調にあつた相場は今朝一齊に下放れてこれがその反落せしめた原因と目されて居り勞々オリムピック中止決定も相當に影響を與へてゐた樣であるが最近の國境に於けるソ聯兵の行動は何今後に危機を孕むものと見られ成行きを注目されてゐる

日立倍增決定

日立製作では十四日丸ノ內事務所に於いて重役會議を開催現在の資本金一億一千七百九十萬圓を倍額の二億三千五百八十萬圓に增資する事に決定し資金調整法により主務省に認可申請承認を求める筈になつてゐる

綿、人絹などの一角に弱味を感ずるから、樂觀に轉ずるのは尙早の觀が深い

東株市場にて

新東解合成立

東京株式市場に於ける東新賣方寺島賣方橋本の間で一萬枚の解合成立し値段は十四日の後場寄百三十圓五十錢である

朝實理事監事會

朝鮮實業俱樂部の定例理事監事會は、廿五日午前十一時より京城鐵道ホテル會議室で開催する

國債 閑散に小高下

東京國債　▲甲號五分一〇一、三四五▲第三五分▲一〇四分▲二十九年物▲二十六年物▲二十八年物▲佛貨四分一九八三〇▲米五分半

分利中限五錢安佛貨中限が五錢高と小高下を示せるのみでその他は殆と釘づけ狀態である

物價債社公

	利回り	價格
[illegible]		103,45
[illegible]		102,70
[illegible]		102,70
[illegible]		98,70
[illegible]		97,90
[illegible]		365,33
[illegible]		360,00
[illegible]		198,40
[illegible]		100,40
[illegible]		98,50
[illegible]		100,10
[illegible]		99,80
[illegible]		99,85

期米

內地高に買進む

更に强含み

前場　今朝は內地高觀の實物に當二圓三十七錢中二圓五十六錢先二圓五十七錢と前日の止値より三厘安に寄付いたが平北から內地は青森秋田方面に於ける水害に押目は買氣强く仕所へ正やの賣行き良好に證屋筋の引物で當限が高くなり一方に中先共一層買氣を刺戟しアトは五十八厘から逆筋ずり商の六十五入と更に反撥へ引降は買方の利喰ひ五十三錢と小弛みに大引せしが相場の地合は尙强含みとあつた

後場　强硬裡に前止せる氣先阪地小高を入れて當所は當二圓四十五錢中二圓六十六錢先二圓六十四錢と一錢高く二節六十五錢と稍々强調であつた

米界 六感

いくら人氣が買ひ募らうてゐても斯ふ正米が手堅くては思惑に出來ないと思ひ乍ら見て居たが果せるかな相場はヂリ〳〵ながら三期揃ふて新高値へ吹き上げてしまつた▲斯うなると買方側は吹いた所で利喰ひし押目は買ひ增しが出來るので相場は益々高くならざるを得ない譯だが然し東京大阪の公設市場では政府の物價抑制策に順應して朝鮮白米の値上を許さないと云ふ說もあるのでこの上有頂天になつて買進む事は强氣も大に警戒する必要がある▲舞戒と云へば段々と納會が近づいて來る當限は堅屋筋の持米が引續き精米原料へ好く捌けるので最近は賣方の前途を危ぶむ者が多くなつてゐる許りか賣方の出方一つでは面白い戰爭になるだらうと云ふ向も勘くない▲何にしても三期の內で未だ一番好く取組んでゐるのは當限であると同時に之れが結末がどうつくかは見物である

せる賣方は賀米を用意せるのでその程度には 何等變化な きも丸丸崩の繋米は精米原料として續々賣捌くと 同時に買方中では 兩店の

受米敢行計畫

多量の賀米往れと買方島合の宗で路會安を懸念された當限は繋米の賣行き良好と共に最近は情勢が一變されてゐる 既ち兩店を 擁據と

續騰は困難

目下仁川の正米事情から見ると殺は賀物商に一斤が九錢七厘以上を固持し玄米は精米筋の買進みに依り銀四等建の三十二圓三十錢ならいくらでも捌けると云ふ始末であるから滿洲相場に於いても勢い斯うした正米高に牽制され此邊は高值るとも安くはなれない事になつてゐるわけであるが然し最近は東京大阪方面に於いて公設市場が値上げを許さない事に對し袋入りの白米の値上を見込み最近は東京大阪方面から賀行きも影響を來してゐるの感がある從つて精米筋でもこれ以上玄米を賣發して買進むかは疑問であると同時に精米原料に買手がなくなると他に處分の利がない正米としては之れ以下引締る事は至難であるから相場も先づ之れ位の强硬でないかと見る向も勘くない

仁川穀物出入（十四日）

▲隨着大豆五一八叺小麥五八〇叺▲移出玄米四八三八叺白米七五〇叺白米四五三一〇袋大豆一、五〇〇一叺

に從ひ戰局は一層面白くなるものと觀測されてゐる

京日卸賣物價

品目	價格
◎金	
白金(一匁)	二二、二五
純銀市價(一匁)	十七錢
◎食料品(京城主要商店調)	
朝鮮粟(百斤)	八、七〇
精糖	二四、七〇
鹽(ガメイヤ)(袋六貫)	五、九〇
鹽(二等)(袋六貫)	五、〇〇
鰹節北海物(十二貫)	七、六〇
鶏卵改良種(一貫)	二、七五
◎燃料品(石油類は小賣値)	
撫順炭中塊	二四、五〇
鮮內有煙炭切込一斤	二、五〇
鎭南浦無煙炭二ツ穴一斤	二五、七〇
薪　松(十貫)	
炭　白炭(五貫炭)	一、四五
石油松印(箱二罐)	八、四〇
揮發油赤貝(第二罐)	八、四〇
◎建築材料	
角材 杉松(尺メ)	一七、〇〇
角材 赤松(尺メ)	一九、〇〇
板材 杉松(尺メ)	一八、五〇
板材 赤松(尺メ)	一〇、五〇
セメント小野田(一袋)	一、一〇
◎雜品	
大豆粕安東物(一枚)	一、二五
硫安朝鮮物(十貫)	三、九〇
過燐酸石灰內地物(十貫)	二、三九
鋼　牽引	五、一五
◎金物	
電氣銅(百斤建)	二一〇、〇〇
丸鐵二分(十貫)	一〇、五〇
同　六分(十貫)	九、二〇
同　八分(十貫)	九、二〇
鐵板三×六一步厚	一七、八〇
同　四×八一步厚	一九、三〇
同　五×十一步厚	一八、八〇
ブリキ八開二函	四四、五〇
平板オタフク印	一、五七
平板二十九番六尺	一、一〇
丸釘二吋	三、八〇
針金八番	二〇、〇〇
小很板六尺一枚	一、三二
◎植物性油	
ヒマシ油	五四、〇〇
白絞油	六、六〇
桐油	四〇、五〇

京城穀物市價

品目	價格	品目	價格
玄米三等	[illegible]		
多摩	[illegible]		
穀良都	三一、〇		
玄米丸仁一等	[illegible]		
大豆	[illegible]		
小麥	[illegible]		

各地正米市況

品目	價格	品目	價格
玄米三等	三一、八〇	錦坊主三等	三一、〇
多摩	三一、〇	陸羽	三一、八〇
穀良都	三一、〇	無檢査	[illegible]
白米丸仁一等	[illegible]	丸仁一等	[illegible]
多摩 三等	二九、二〇	銀坊主	二九、八〇
穀良都	二九、五〇	赤神力	二九、八〇
大豆			
龍山三等	一六、五〇	會寧三等	一六、五〇
通長三等	一六、八〇	鐵原三等	一六、四〇
滿州三等	一六、四〇	天安四等	一六、二〇
南華三等	一六、二〇	平壤三等	一六、二〇
水原三等	一六、二〇		
小麥			
滿州三等	三二、三〇	滿州三等	三二、四〇
釜山(五錢高)		同 三等	三二、八〇
四等	三二、四〇	一白	三二、六〇
大邱(不變)		同 三等	三〇、八〇
四等	三二、二〇	一白	三〇、二〇
群山(十錢高)		二等	三二、二〇
四等	三一、〇〇	一白	三一、〇〇

京城雜穀市價

品目	價格	品目	價格
赤豆四等	[illegible]	同三等	一白

一般商品市況

品目	價格	品目	價格
三龍	四三〇〇	改良丸龍	四六〇〇
長龍	四〇〇〇	金龍	四〇〇〇
九龍	二七〇〇	安	三六〇〇
世榮昌	二七一〇	榮昌	二七二〇
双人牌	二二一五	龍判紋	二一五〇
改良關帝	二三〇〇	東方紅	二九〇〇
才人良	—	三友國 トリ ソネット	一六〇〇
公會堂	三五二〇	金丸龍	三四二〇
五枚足子	—	四ツ袋	二七二〇
金明太	三一〇〇	九龍 黃	二四〇〇
岡	四三三〇	大福星	—
不老草	—	三神山	—
天桃	—	山參	—

大羽 鯖	六月限 七月限 十月限	四四、八四 / 四四、七四

大阪鐵油

品目	寄値	引値
◎阪神鐵油 ドラム詰入(百斤)		一一、五〇
同　罐　値(百斤)		九、二〇
北海道精米新入		六、一五
◎新肥料		
當限八仙八三		現物八仙六八
		先限八仙八一
◎大連特産		
▲大豆 袋入	七、三一	七、三三
當限	七、三三	七、一七
先限	七、一七	七、〇八
▲豆粕 現物	三、三〇	三、三〇
當限	三、一七	三、一七
先限	—	—
▲豆油 現物	—	—
當限		
先限		
▲シカゴ小麥 七月限	一八、三五	一、八一〇
九月限	七一仙八分ノ五	七二仙
十二月限		七三仙四分ノ三
◎地金		
金 市中買値(一匁)		一四、九〇
銀 市中買値(一匁)		一四、五〇

株式（十五日）

朝取清算

銘柄	前後	寄付	大引	前日比
朝取	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵鋼新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製鐵	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新日鐵	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日窒	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝石	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北鐵	前・後	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取算定値と日步

銘柄	算定	日步
朝取	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]
新業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日窒	[illegible]	[illegible]

朝取短期賣買表

銘柄	賣方	買方
朝取	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前場	後場
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期

銘柄	前場	後場
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]

東株短期

銘柄	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現物

銘柄	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

期米（十五日）

朝取仁川

	前場 寄付	大引	後場 寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

	前場	後場
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

東京期米

	前場	後場
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

商品（十五日）

各地正米

	當限	中限	先限
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△東京人絹

	寄	引
前場 當限	九〇・〇〇	九〇・〇〇
前場 先限	八七・四〇	
後場 當限	八九・〇〇	八九・四〇
後場 先限	八九・二〇	八九・二〇

△横濱人絹

	寄	引
前場 當限	九〇・〇〇	九〇・〇〇
前場 先限	八八・八〇	八八・三〇
後場 當限	八七・二〇	
後場 先限		

△大阪砂糖

	寄	引
前場 當限	一三・二六	一三・二三
後場 當限	一三・一六	一三・一三
後場 先限		

外電（十五日）

品目	値
倫敦金塊	七磅一志三片
倫敦銀塊	一九片十六分五
米棉	一〇錢高
印棉	三錢安
アナコンダ株	三三弗四分ノ一
スチール株	五八弗四分ノ一
日米爲替	二八弗六仙
英米爲替	四弗九十五仙二三

東京コール（十五日）

品目	値
翌日物	〇六〇〇
無條件	〇七〇〇
普通	〇六五〇

金融

日銀帳尻（十四日）

品目	値
發行高	一、八三六、六二三
正貨準備	八〇一、三六六
貸金高	六六七、〇六八
貸出高	四三一、四七〇

鮮銀帳尻（十四日）

品目	値
發行高	二四三、四〇四、三二八
正貨準備	一四六、一九六、〇五五
保證準備	九七、二〇九、〇二四

大相撲京城興行

取組豫想

年寄 追手風元吉【元大關清水川】

四日目

鶴ヶ嶺＝笠置山

鶴ヶ嶺は立合上突張りに攻め四つになれば上手投の武器もある、笠置は頭を下げて左差し寄りに出るが、寄るところ鶴ヶ嶺が上手を引けば笠置も危い、四つにならぬ中に仕事をすれば笠置のものだが組めば鶴ヶ嶺の勝であらう、笠置は名代の理詰の戦法、十一月場所初めての顔合せは六日目寄り倒して笠置山快勝した

大潮＝出羽湊

大潮は體も大きく相撲も大きい、左四つ出し投げを得意とし註文通りに行けば出羽湊は防ぐ餘裕もなく押出される、しかし出羽湊も變化の多い相撲、関脇までとつた策師であり大潮の左四つの押出しを默つてゐる相撲でもない、さして來るところを逃げるか、逆に右差しで投げを打つか、足癖も見せ樣し此の邊で勝負を決するであらうが、組んで大潮、離れて出羽湊、これまでの本場所は大潮三戦二勝一つの勝越である

前田山＝五つ島

前田突張つて差して出るか、四つになつて押出すか、變化の多い取口でキビ〳〵した立合を見せる、五つも地力のある相撲で突いて來るのを右上手でもとつて相手の胸に頭をつけ、得意の出し投気味の上手投でも打てば大相撲となり、前田山立合一突に勝ちを決せねば

名寄岩＝鏡岩

面白い勝負で、一番の動きが興味の中心である、大物喰ひの兩者も昨夏始めての顔合せに一勝したきり今年は春夏連敗してゐる、同型同巧の相撲で立合必ず左四つ左四つになれば名寄は若さと元氣で寄り氣味強引な寄りに出よう、鏡は老巧右を絞つて相手の胸に頭をつけ遮二無二寄る、名寄も勿論簡單に鏡の註文には嵌るまいから観客の充分滿足する力のこもつた大相撲が期待される、春場所の初顔合せは名寄の勝、夏場所は六日目捻落しで鏡の勝となつた

磐石＝双葉山

磐石は近年めき〳〵と精猛も増し相撲も堂々たる上達振りを示してゐる不幸五月場所膝を痛めて休場したが、連續ない闘膽振りを示してゐる負傷も回復し稽古不足が多少氣づかはれるが此の一番、體格、力量とも申分なく双葉に對して最も熱戦を期待される、これまでの戦績は玉錦を破つた磐石も双葉六十六連勝の無敵振りの前に脆敗してゐる二年春以來四連敗に終つてゐるが立合充分左を差して必死に寄り、また寄るところを一たん逃つて寄返し双葉はこれを上手投か、打棄りか、双葉と磐石は永く稽古を共にして來た仲で互の弱點も良く承知してをり面白い勝負であらう

男女川＝羽黒山

男女川なら羽黒としても相手に不足はない筈、向ふ見ずに打突つてこれを強引に左に引張つて小手投に出るか、これが自分の構が充分ならば文句はないが、體勢崩れゝば羽黒すかさず附入つて瓦斯も思はぬ不覺をとらぬとも限るまい、夏場所初の顔合せは四日目羽黒がずぶねりで討取つてゐる

"國民體育運動へ"

東京大會中止に就て　梅澤體協主事語る

オリムピック東京大會中止に就て本府梅澤體協主事は、今後の體育等を語る

「東京大會の中止も兎や角の論議を措いてこの客觀的事態では萬止むを得ないことでせう

明後年の東京大會を目指し精進する若人には大きな目標を失つた譯ですが、茲に考へなければならぬことはオリムピック大會の存在意義です、オリムピックは個人的な選手のために存在するものでもなく又大衆の娯樂のために存在するものでもない、國民體位の向上を導くと表示し、「メンス・サナ・イン・コポレ・サノ」＝健全なる精神は健全なる肉體に宿る＝の健全なるオリムピック精神を具現するため存在するものであります、オリムピックを選手中心に大衆が觀衆的な氣分で享樂するものであると考へた時オリムピックの中止も影響がありますが、以上の如く考へる時は唯表示の手段を失つただけでさして體育運動界に影響もない譯です

問題は國民の根本觀念の轉換にあります、選手中心運動享樂に慣れた氣分を棄てさり茲に新なる而して本然の觀念即ち體育は普遍的なものであり鍛錬的なものであるといふ觀念に立返ることが必要です、各人が國家構成の一員たるとを自覺し肉體を鍛錬し國民皆ナとところなき體育運動の普遍化こそ根本の問題であり又眞の意味のオリムピック精神の實現であります

今後の體育運動界の動向はオリムピック中止を契機とし諸種の客觀情勢からも相當な變化を來すことでせう、體育運動は全體的となり普遍的となり團體的となり訓練的となるものと思はれます、最近の勤勞奉仕、勤勞、ハイキング等々もこれが具現されたものであります、從來の選手中心の觀念は、段々棄てさられ、又清算されなければならぬものであります

ドイツでは國民體位向上問題から國民運動勢者は研究され實現され最も進歩してゐます、各村に一運動場、一倶樂部を持ち國民全部が運動の義務を有し、之れを統一する機關もあり殊に整然とした統制の下に國民體位向上に前進してゐます、從來の各競技の問題ですが、これの存否には影響ありません、勿論資材統制等に依る問題から運動具に影響して來ますでせうが當分は現在の儘と思はれます、要は國民各自が從來の觀念を根本的に改め各自の體育訓練に努め、國民打つて一丸とした國民體育運動にと向ひつゝあり又斯くなることが最も國策の線に沿ふものであります」

齒專山岳部

北胞　山征服へ

京城齒科醫專山岳部では夏季休暇を利用して北鮮國境に聳える白頭山脈中の嶮峰北胞胎山（二千四百五十米）征服の登頂隊を組織、いよ〳〵廿三日リーダーの武内君以下が京城發十日間の豫定で壯途に上ることとなつた

同部は昭和八年冬京都帝大山岳部が挑戰、不幸下山コースで遭難、危く救助された難山だけに武内君はじめ全部員は愼重を期してゐる、武内君は「今冬は冬山をこのメンバーで征服する意氣込みでゐます」と語つてゐる

京城中等庭球戰

十六、七兩日善隣コートで

京城中等學校庭球聯盟主催本社後援第十九回庭球聯盟戰は十六（午後四時）十七（午前八時）兩日善隣コートで開催されるが參加校は昨年の優勝校善隣の外に京畿商、龍中、京畿中、京城商、龍山中、養正中等七校であるが、炎天灼熱のもと迫力と意氣に燃えた當日の熱戰が待望される、對陣は左の通り

◇Aコート

▲京商對龍中▲善隣對龍中▲養中對養正▲京商對龍中▲善隣對養正▲京商對龍中

◇Bコート

▲龍中對善隣、善正對京商▲京中對道商▲龍中對京中▲龍中對養正へ善隣對道商

◇Cコート

▲道商對龍中▲龍中對養正▲善隣對京商、養正對道▲京中對養正▲京商對道商

都市對抗軟式野球

京城豫選第一回戰

全鮮都市對抗軟式野球優勝大會京城豫選第一回戰京郵對倶樂部戰は十五日午後六時より崇忠壇球場で擧行一―〇で京郵辛勝し閉戰同七時

倶樂部	0	0	0	0	0	0	0	0
京郵	0	1	0	0	0	0	0	1

日獨伊競技

開催中止と決定

【東京電話】東京大會中止に伴ひその成否を危惧されてゐた今秋擧行豫定の日獨伊三國交驩陸上競技大會に關する準備委員會では十五日午後三時から緊急委員會を開き善後策を協議した結果本大會は日本國内競技界の強化の目的の下に計畫されたものであるのに東京大會が中止された今日では存在價値を喪失してしまつたとの見解から遂に中止決定この旨外務省はじめ文部省體育課、軍部、日本郵船、獨伊兩國大使に對し夫々諒解を求

けふのスポーツ

庭球　京城中等學校庭球聯盟主催本社後援第十九回中等リーグ戰第一日、午後四時、善隣商業コート

水上　第五回朝鮮學生水上競技選手權大會第一日、午後五時、京城プール

柔道　鐵道局柔道部主催第二回局内大會決勝戰、午後一時、鐵道養成所道場

卓球　全國都市對抗京城豫選競技立大會豫選リーグ戰第一日午後一時、城大豫科部ホール

常勝カニングハム敗る

【プリンストン發同盟】去る六月十八日當市に於て擧行された第五回陸上選手招待大會に於て北部テキサス師範大學のウエイン、ライドアウト君は四分の三哩レースに於て三分〇秒三の世界レコードを出しさすが常勝を誇るカニングハムも見事敗つた、これでベルギーのジョセフ・モスタートの記録が十分の一秒短縮された（優勝は正にゴールに入らんとするライドアウト君、二着はカニングハム君、三着はベンツクケ君）

家庭

母としての立場

講演 〝戰時の日本婦人〟【3】

山田わか

そんなふうにいろいろなことが起きて居りますけれども一方には本當によく日本を理解して下さる方もありまして、ある人の如きは、「日本は偉い國だ、今の世界の國々を木に譬へるならばどこの國も皆挿木か接木された國であるけれども、日本だけは大木だ、今國家として生命を保つてゐる國は日本だけだ、大木、生きた木、成長しつゝある木である」とかう言つて歎きました。實際その通りで日本は三千年の節を經た大樹で世界に榮えてゐる、どこの國だつて日本の如き國柄は本當にないのでございます。こゝまで育て上げたのが所謂日本精神で、外國のそれと異る點でございます。

×

その異る國民性を今な金をもつて區別して見ますならば、こゝに一萬圓のお金があるとして、米國人ならば、これは自分のものだから自分がもつてゐて不都合なら他の國に行くといふやり方であります。日本人はさうではございません、國家のため一旦緩急あれば私共のお父樣……お父樣とお呼び申上げては畏れ多い陛下のものだから總べて陛下に奉るといふのが日本人の氣持でございます。この氣持故に世界に類例のない國體が保たれてゐる所以でございます。

×

そこで私は……ルーズヴェルト大統領夫人に會見して、アメリカの婦人の理解を求め、且つ日本の精神をお話しようと思つて出掛けたのでございますが、船中でつくづく考へますに、大統領夫人が日本精神を解してゐないといふやうなことを申さない、なまじ判り切つたことをお話し致して世界の輿論を惡化せしめるやうなことがあつては大變と考へ直しました。

×

さて大統領夫人と面會致しました時私は「私共女性は民族の母として、政治關係の細かい問題は超越致しまして私共母として息子が血を流してゐるのをたゞ見てゐるわけにはゆきません、戰場に息子を送る母の氣持は支那の母も日本の母も同じ東洋の母として惱んでゐます。故にアメリカの母の心を東洋の母の心に協力させられて一日も早く平和な日が參りますやうに世界の輿論をお導き下さいませ」と申上げたのでございます。すると大統領夫人は非常に感激に受取つて下さいまして「本當にさうだ、私共母達は—アメリカの母は世界平和のために協力せよといふ山田女史の提案を喜んで歡迎する」とおつしやつた。

×

戰場に息子を送る氣持は日本の母も支那の母も同じでございますといふことは、これは決して修飾ではありません。「南京陷落」といふ悦報が入りますと私共先づ「何人死んだか」といふ氣持が起ります。この「何人死んだか」といふ心は日本の母も支那の母も全く同じでございませう。話が一寸横道に入りましたが、大統領夫人は非常に氣持よく受けて下さいまして、直ぐ翌日の全米十數の新聞に掲載して下さいました。これは本當に嬉しく感じました。この會見の際大統領夫人の御意見としては、「國と國との間にはいろいろな差がある。その差を取り除くために戰爭といふやうな方法をとらないでもつと平和的な手段があるはずだ、私達母はその點を考へませう、研究しませう、協力致しませう」と言つて下さいました。

×

そこで私もこの言葉に就いて考へて見ましたが、私共母として女性として考へる餘地がありはせんかとつくづく考へさせられました。さういふことに就きまして、何時かは世界の母達が自覺して、萬一國と國とが衝突した時、私共母達女性達がその兩者の眞中に立つて「戰爭はおよしなさい、戰爭がしたければ先づ私達を打つてからにして下さい」と言つて起つたらどうでせう、果して眞中に立つてゐる私達女性を打つことが出來るでせうか、實際さういふ事に就いて私共母は今後起たなければならぬ時が來ぬとも限らんのでございます。つまり外交が面倒になつてさうしてぶつかりさうになつた時相互の間に解決を見出し得る點があるのではないかとかういふことを思ひます。だから私一生懸命に考へて居ります。このことはルーズヴェルト大統領夫人も考へて居られますそれには日本と米國の母が先づ手を結び、やがてその次には日本の母と支那の母、アメリカの母、ひいては獨逸の母、しまひには世界各國の母が手を結ばなければならぬので、何時かはその時が來ることゝ存じます。その意味に於きまして私は非常に良い種を蒔いて來たといふやうな氣持が致します。

豆類の保存法

豌豆、ささげ、大豆等は梅雨を越すと非常に虫がつき易く、濕氣でむれて味も惡くなるから保存に注意しませう

いれものは罐が最もよく乾燥した罐、袋もよいが、時々日光に當る場所に持ち出し若し虫を發見したら莚面にひろげて日光に當てると虫は死んでしまひます

麥や米は日光に當て過ぎると品質を惡くするが豆類は決して味が變りません

家庭に備へたい木工具と金工具

〝これだけは是非必要〟

何處の家庭でも簡易な木工用具として鉋の一挺や二挺位は是非必要だと思ひます、一家にこの位の工具がないと非常に困る場合が多いものです、假りに棚を作りたい、棚を吊りたいと思つても、大工さんを雇ったり、又はバケツに穴があいたといつてはイカケ屋さんに出したりする様な事では、經濟生活を簡易化し經濟化することは出來ません、また自分の手で作つたり修繕する所に樂しみがあるとも言へるのです

そこで私達の家庭に於いて必要なものを、こゝに抜き書して説明

兩刃鋸　普通家庭で使用する鋸は縱挽横挽兩用の兩刃鋸と、糸鋸の二種があればよろしいのです、縱挽は鋸の荒い方で、木材を木纖維の方向即ち、縱に挽き割る場合に使用するものです、又反對の鋸の細かい方は横挽で、木材の纖維を横斷する場合に使用するものです

廻挽糸鋸　此の糸鋸は自由な曲線を切斷するに適當なもので切込みの部分に糸鋸の刃を入れて迴しながら挽き抜くのです

一枚鉋　木材の表面を平滑に削るに使用する工具で刃の一枚のものを一枚鉋と云ふのです、一枚の鉋で、削り始めから削り終りまでの仕事をする以上は、鉋の臺面は、仕上げの仕事をするに適する、上仕工に作つておくことが最も當を得たものであります、但し刃口は荒仕工にしておくとよろしいです

錐　普通釘を打つ穴を開けるに用ふるもので、先端の三角形の三ツ目錐と、方錐形の四ツ目錐とあります、鐵釘の時には三ツ目錐を、木釘や竹釘を打つ穴を開けるには四ツ目錐の方がよろしいです

鑿　鑿の中では向待鑿、平鑿の二種位で向待鑿は木理を横斷して、深き孔溝を穿つに使用します平鑿は向待鑿で粗取した孔溝を修正する場合に用ひて便利です

彫刻刀　之は切出小刀、間鋤、丸鋤の三本組より數本にて一組のものとありまして、切出小刀は一種の切出小刀で、間鋤は彫刻の場合に平面を鋤き削るに用ひ、丸鋤は刃先が圓弧をしてゐるもので凹形部を鋤き削るに使用するものです

此の外曲尺、金鎚、木鎚（甲丸）、鉋、罫引、砥石、中〜などであります

紙上病院

酒と便通

【問】酒を飲むと翌日非常に便通が良いのですが、飲まぬ翌日は便通が有りません（愛酒生）

【答】本田博士　それは既に恐るべき酒の慢性中毒症に罹つて居る爲めだと思はれます。卽ち酒の中毒の爲め胃腸が疲勞乃至麻痺して普通の狀態では便を送り出すところの腸の蠕動運動が出來ず、飲酒によつて「アルコール」の一時的の生理的に有害な刺戟作用の力によつて漸く腸の蠕動運動を起して便通がある譯であります、然し中毒が進むと腸が全然馬鹿になつていくら酒を飲んでも便秘するやうになるものと思はれますのでこれから漸次飲酒して飲酒の惡習慣を矯正されんことを御勸めします

主婦の手帖

おひつの磨き方

夏はお櫃が不潔になり易く御飯の味まで變ることがありますから、いつも洗つたまゝでをかず時々石鹼にキメの細かい磨粉を混ぜてへチマでごしごし木目に沿ふて磨き、内部も手の觸れ易い、上の縁もよく磨くこと黑くなつて饐え臭いお櫃は氣持が惡いものです

洗つたら風通しのよい場所において乾燥すること、直接日光に當てるのはよくありません

御飯をお櫃に移したら蓋を直ぐせず上部に乾いた布巾をかぶせて、冷めてから蓋をすると御飯が饐らない、御飯は固まらぬやうよくほぐしておくことが大切です

午後の横顔

【5】プール

午後二時……

照りの間はヂリヂリと照りつけ梅雨上りの午後は ムタと 蒸し暑い、「只今」と大きな鞄を玄關先に放り出した凸坊と凹坊は例によつて「甘え」の一手でママからお小遣ひを頂くと手拭と水泳着を持つて一目散、電車を京城グラウンド前で下りて右に野球場、庭球場、競泳プール、ダイビングプールを左に大講堂場を見たがら滑薬の坂道を子供用プールにエッチラオッチラ、脱衣場に入るもどかしくもうまつぱだかになつて木蔭と滑かへかゝる、シャワーのつめたいことく、「ワーイ、ブルく」と凸坊や凹坊今まで暑いくといつてゐながらかゝつたとたんに一ぺんにちぢみ上つてしまつた、さあプールだとそのきはまでは來たがプールの水は碧く澄んでどうもつめたいやうだ一寸このところ凸凹御兩人ふるへ上つた瞬だ「ジャンケンポンアイコデショ」凹ちやんが負けた凹坊しぶくと足の先きからつめたいのを我慢して遂にジャブンくらめしさうなしぶきを立てゝプールの中からジーとこちらを見てゐる「おい、凸坊はいつてこい」「誰がはいるものか」「よーし」プールから上つた凹ちやん、逃げる凸ちやんを追ひかけ、たうとうプールの中に突き落した

今度はプールの中で一大論戰がはじまる、しばらくして二人とも「ゲーく」言ひながら大分水を飲んだらしくふらくになつて水面に現はれ「もうやめやうや」とたうとう兩人とも兜をぬいでしまつた「おい、クロールで勝負しないか」「よし、やらう、こい」今度は二人はオリンピック選手氣取りでスタートラインに並んだ「よーい、ドン」同時に上つた水煙りといひたいところだがしばらくしてドボンくバチャンと二つの鈍い水音、凸坊は鼻にかまへてゐたのでそのまゝすぐにラムネ瓶びでドボン、ところが凹ちやん、よせばよいのに濁炎と跳込んだまではよかつたが水面で大きな腹を勢よく打つてバチャン、こゝで完全に伸ちやんノビてしまつた

京城府營子供プールではあちらでもこちらでもこんな失敗が繰り展げられてゐる、京城の午下り、大陸の强烈な太陽はプールの水にキラくと輝いて、眞黑に日燒けした子供達の水にぬれた體をいやが上にも健康さうに照らしつけてゐる【寫眞は府營子供プール】

當代一流 争覇戰譜

【第五局】

平手　△五段　梶一郎
先　▲五段　大和久彪

（圖は七七金迄の局面）

▲五六歩 12　△同銀　▲五五銀 1　△五七銀 20　▲九五歩 8　△二四歩 15　▲同歩　△二五歩　▲九六歩　△二四歩　▲二六歩 1

（持時間各九時間）

累計　大和久氏 二時間二分　梶氏 一時間四十八分

△梶氏（駒持）歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香					王		桂	香
二					金	銀	金	角	
三			桂	歩		歩		歩	歩
四	歩	飛		銀			歩		
五			歩		歩				歩
六	歩			歩	歩		歩		
七		歩	金		銀	歩			
八		角	金	銀				飛	
九	香	桂	玉					桂	香

▲大和久氏（駒持）歩歩

觀戰記

戰線擴大の二四歩　兩氏の正しい手順

六段　飯塚勘一郎

機先を制して攻撃を開始した梶氏は、一旦七筋の位ひを確保し、今日の初手で五六歩と取り込む、前局來の豫定である、大和久氏の同銀は當然

其處で梶氏は一寸思案して、五五銀と交換を迫る、飛の横利きを作つて平凡の手段だ、平凡に五五歩では、四五銀と逃げられ、三三銀と凌いでも五四銀で次に六七金か六六五歩を利かされて宜しくない大和久氏も五五同銀と應じては、手順に同角と逃げられ、再び四六銀の一手となるから三三角と逃げられた後、九五歩、同歩、九七歩同香、九八銀の脅威があつて不利となる、從つて五七銀上るは已むを得ぬ對策だ

梶氏も五七銀は恐らく豫想したと思はれる、再檢討の六分で、飛然し五五歩と方向を轉換する、若し大和久氏が同歩なら、續いて九七歩から、端を攻め五六銀の質を見越してゐる、なかく五月蠅い攻めである

大和久氏も此の歩突きには弱つたらしい、平凡に應じては其れこそ梶氏の術中に陷つて了ふ、と云つて緩い順では次の九六歩が嫌い

で來る、つまり梶氏の九五歩は、取つても惡く、捨てゝ置いても惡いと云ふ厄介な歩突きである

何か好手は無いかと、大和久氏は盤中隈無く見廻してゐたが、鑿で飛先の一點を凝視する、横狙に讀んで十五分、成算なつたか斷然二四歩と攻め合ひに出る、聯合には所謂鑿手の手筋で、梶氏が是を同歩なら、更に二四歩と垂らし次の二五飛を見せて角頭を狙はうと云ふのだ、流石に苦勞しただけあつて鋭い着眼だ

梶氏の九六歩は誤たざる手順、輕率に二五同歩と應じるより、二四歩、四四角、二五歩成、同金、五五銀、同角、二五飛で一轉に殲滅する、危い處だ

大和久氏の二四歩、梶氏の二六歩は何れも豫定

見られる通り戰線は全面に擴大した、九筋が早いか、二筋が早いか、雌雄は益々混迷する

胃腸の弱い人は……

ヴィタミンB複合體が要る

瘦せたり、貧血したり、仕事に早く疲れる人だちに……
エビオス錠が賞用されます

エビオス錠は藥といふよりは高度に濃縮された榮養素であります。日本人に多い慢性の胃腸病が主として榮養上の缺陷就中ヴィタミンB複合體の不足に原因することが明らかにされた今日――その不足榮養素を一ばん濃厚に且つ簡單に補給するものはエビオス錠だからです。

この錠劑を食後々々に連用しますと……無力に陷つた胃腸の機能を強めることによつて、先づ食慾を恢復させます。次に消化を助けます。滯りがちな便通を規則的にします。更に……日常食物の血液化を助長し、榮養を充實しますから自ら體位の向上を圖ることになります。

瘦せがちな人、仕事に早く疲れる方、一寸變つた食物を食べても直ぐに胃腸の工合を惡くするやうな人々に――持藥としてこの錠劑が好評をいたゞいて居るわけです

エビオス錠

三〇〇錠 一圓六十錢
一〇〇〇錠 四圓八十錢
慰問發用……

エビス・アサヒ・サツポロ・ユニオン麥酒釀造元
大日本麥酒株式會社
東京市日本橋區本町二丁目
株式會社 田邊元三郎商店
大阪市東區道修町三丁目
株式會社 田邊五兵衛商店

ヴィタミンABCDE（一九三八年版）……と題する冊子は東京田邊商店B係宛お申越次第送呈します

麗人莊〔1〕

竹田敏彦作　伊勢良夫畫

【禁無斷上演映畫化】

春の雪（一）

『いよ〳〵今日きりでお別れね』

『さう言へば、皆の顔、何だかいつもと違つてゐない？』

『淋しさうで、それでゐて何だか悲しさうね』

『夢のやうだわ、五年の間……』

『いろんなことがあつたわね』

『これから先、また五年經つたら皆んな何んなに變つてゐるでせう？』

『里井さんのセンチ！もう止してよ』

『あら、さういひながら、自分も潤んでるくせに』

『この櫻、今年も、來年も、やつぱり咲くわね……』

『年々歳々、花變らねど、人變るだわ』

『ほつほほ、何、それ……』

『そんな言葉があるぢやないの、意地惡ね』

『ほつほほ……』

朝の日が、校庭の柳の新芽に萌えて、水兵服の若々しい顔は、明日の希望と惜別の感傷の微妙な昂奮で輝いてゐた。

三月下旬――こゝ城北女學院も卒業式の朝である。

幾多い五年の處女時代を、通ひ續けた思出の校門は、今、すがすがしい早春の朝風に、色鮮かな日章旗を翻して、けふの彼女等の首途を祝福してゐた。

だが、かうして恩師と別れ、友と離れて旅立つ人の世は、この學園の月日のやうな、希望と平和ばかりの世界ではない。波も立ち、嵐も吹かう。思へば明日からの、人の世の寂しさが、彼女等の無邪氣な會話にも、早くも滲んでゐるのだつた。

緋紗子は、さうした級友達の甘悲しい別れの集ひから避けて、さつきから一人、隅のポプラの蔭で、昨夜ざつと考へておいた答辭の原稿を、心で繰返してゐた。

『樹々の新芽も萌え立つこの朝、私達一同のために、盛大な卒業式を擧げていただき、厚き、溫い御教訓を賜はりましたことは、私達一同身に沁みまして、生涯忘れ得ぬと存じます。回顧しますれば私達が、初めてこの學園に集まりましてから、早や五年の月日が流れました。思へば夢のやうでございますが、この長い年月の間、寒さにつけ、暑さにつけ、雛を育くむ親鳥のお情をもつて、始終懇切な御指導を賜はり、遂にこの晴れの日を迎へ、一人前の女子として、社會へ巣立たせていただきます校長先生始め諸先生の深い御恩を顧みますれば……』

緋紗子は、繰り返してゐるうちに、その深い師の恩とともに、今日の卒業を待詫びる母の永い苦勞を思ひ浮かべる。その時、

『あら、お姉さん……』

後から呼ばれて振り返つてみると、妹の泰子がにつこり寄つてきた。

泰子は緋紗子と二つ違ひで、同じ城北女學院の、今年四年生であつた。姉の方は、背丈のすらりとした、潤んだやうな清楚な顔立で、房々とした斷髮の下に聰明らしい綺麗な瞳がつゝましやかに微笑んでゐる。妹の泰子はその反對に、かつと燃え出さうな圓らな眼が、激しい情熱を包んで潤み、豊かな頬に、笑へば愛くるしい笑窪が 堪らない魅力を たゝえた。

『今日の卒業生總代、やはりお姉さんでせう？』

『えゝ、まだ先生からは何とも聞かないけれど……』

『でも、もうすぐ式が始まる時間よ。先生は何をぼんやりしてゐるんでせう……お姉さん、すぐ讀んでも答辭言へて？』

『えゝ、それは……でも何うしたのでせう。先生は何も仰言らないわ……』

緋紗子は、ちよつと腕時計を覗いて、急に不安げに、美しい眉をひそめた。

ラヂオ　十六日（土）

第一放送

朝の部

午前六・〇〇（東）ラヂオ體操
六・二五　ニュース
六・三〇（東）基礎英語講座
七・〇〇（東）時報、今日の天氣見込
七・〇一（島）朝の修養　國民精神總動員運動に關して我が村の和と統制に立つ銃後後援　島取縣氣高郡湖山小學校長　片岡　氣錄
七・二〇（東）朝の音樂（レコード）
九・〇〇　愛國平壌號獻納式實況（平壌・第一裝置）―平壌飛行場より中繼―
九・二〇（城）氣象通報
一〇・〇〇（城）衛生メモ、日用品値段
一〇・二〇（城）商店經營講座（一）小賣業に於ける競爭と協同　吉川義弘
一一・一五（城）家庭の時間（朝鮮語・釜山）子供の夏服について　裴祥明

晝の部

正午（東）時報
（東）土曜コンサート（第三十回）クロマチカハーモニカとマンドリン獨奏
クロマチカハーモニカ獨奏　本莊　忠司
マンドリン獨奏　中川　光高
ピアノ伴奏　比留間きぬ子
一、クロマチカハーモニカ獨奏　（イ）歌劇「ミニヨン」ガボット（ロ）メヌエット（ハ）田舎（ニ）嵐の夜
二、マンドリン獨奏　（イ）カヴアチーナ（ロ）焦燥（ハ）メヌエット
午後〇・二〇　ニュース・鮮魚卸値段
二・四〇（東）ラヂオ體操
三・〇〇（城）家庭講座　夏休と家庭の心得　京城師範學校教諭　上田樋五郎
四・〇〇　ニュース、（氣象通報・釜山・清津）糧穀相場
四・二〇　大相撲實況―四日目―（第二裝置・京城）―京城府南米倉町相撲場より中繼―

夜の部

六・〇〇（城）童話〃戰地の兄から三郎へ〃　濱口良光
六・〇〇（東）童話（清津）マリちやんのお人形　小井　正子
六・二〇（東）コドモの新聞
六・二五（大）講演　各國の珍らしい汽船　和辻　春樹
六・五五（東）カレントトピックス
七・〇〇　ニュース・天氣見込
七・二〇（東）特別講演
七・二〇　慶尙南道防空訓練講評（釜山）慶尙南道知事　岡部千一
七・四〇（東）講演　歷史から見た勞力奉仕運動　農學博士　小野　武夫
八・〇〇（城）皇軍慰問の夕
（一）挨拶　朝鮮商工會議所會頭　賀田　直治
（二）慰問文朗讀　一、京城師範附屬第一小學校六年　細田　忠弘　二、京城女子師範附屬小學校四年　鄭　爾　南
（三）ラヂオスケッチ〃銃後便り〃（錄音編輯）
（四）歌謠曲　（イ）さくら進軍（ロ）粹なネクタイ（ハ）若き日の胸　伴奏　DKオーケストラ　朴　響　林
（五）國民歌謠　一、愛國の花　二、航空決死兵　伴奏　DKオーケストラ　京城放送合唱團
（六）俗曲　（イ）白頭山節（吳）（ロ）緣かいな（勝路）（ハ）おけさ節（勝路）
（七）新日本音樂　唄・三味線　吳　英心　勝　路
一、戰勝日本（久本玄智作曲）　唄　箏　今井　春枝　鈴木美佐保
二、敵前渡河　唄　箏　今井　春枝　鈴木美佐保
三、輝く陽　第一箏　今井　春枝　第二箏　山田　昭子　ヴアイオリン　安　聖　敎
四、日章旗の下　唄　箏　今井　春枝　鈴木美佐保
五、靜進　第一箏　今井　春枝　第二箏　山田　昭子　同　丸山由紀子　第三箏　谷田貝千代子　同　佐藤　初枝
九・三〇（東）時報・ニュース・氣象通報・ニュース解說、明日の番組・翌日の番組、地方へのニュース・銃後美談

第二放送

午前一一・一五　家庭の時間　裴祥明
正午（東）土曜コンサート
午後四・二〇　蹴球試合實況中繼（平壌）
六・三〇（京城）うたのおけいこ（一）　金　喜　貞
六・三〇（平壌）アッコーデオン獨奏　朴　永　瑾
七・〇〇　講演　金　尙　鈴
八・〇〇　皇軍慰問の夕

あすのきもの

十七日（日）

午前九・二〇（東）ラヂオスケッチ〃夏の子供〃（テキスト二四ページ）東京放送童話劇協會
正午（東）時報につゞき（城）詩吟と琵琶　合原旭天臣
午後一・〇〇（城）尺八合調　都山流京城幹部會
一・二〇（東）謠曲〃阿漕〃　觀世武雄・外
一・五〇（東）長唄〃吾妻八景〃　吉住小三八・外
二・一〇（大）浪花節〃六代目横綱阿武松綠之助〃　筑波　武蔵
二・四五（東）レヴュー〃日本の旗〃　寶塚少女歌劇
四・三〇（城）大相撲實況五日目（第二裝置・京城・平壌）―京城南米倉町相撲場より中繼―
六・〇〇（城）お話　身體の鍛へ方　朝鮮體育協會常務理事　梅澤慶三郎
六・〇〇　海と山の座談會（清津）セイシン・リカ・クラブ
七・三〇（東）日曜特輯ニュース　演藝―AK文藝部編輯―
八・〇〇（東・大）歌謠曲　伴奏　東京放送管絃樂團　指揮　細川　潤一　唄　みどり・外
八・三〇（東）ラヂオドラマ
九・〇〇（東）清談樂〃銀座変拘〃
新講堂より中繼「現代日本の音樂」　合唱　大日本聯合々唱團　獨唱　長門　美保　指揮　大澤　壽人　日本放送交響樂團

皇軍慰問の夕

【後八時】

日支事變もすでに第二年を迎へ陸海空軍の精鋭は北中南支の各地に赫々たる歷史的戰果を收めいまや武漢三鎭の陷落も目睫の間に迫り我が忠勇なる皇軍將兵は烈日灼くが如き炎熱の下に勇戰奮鬪皇軍の威武を益々世界に發揚しつゝある

而して事變は更に長期に亘るを覺悟しなければならぬ、皇軍將兵の辛苦も亦大なるを思はせるのである。朝鮮放送協會では皇軍のこの勞苦を偲び限りなき感謝の意を捧げると共にその勞苦を慰ふため左の如きプロを電波に乘せて甚ろなる慰問を試みることゝした

歌謠曲

伴奏　DKオーケストラ　朴　響　林

一、さくら進軍

（一）日本さくらの枝のびて　花は亞細亞にみだれ咲く　意氣で咲け　櫻花

（二）揚る凱歌の朝ぼらけ　天下無敵の荒鷲の　姿たのもし　花の空　意氣で咲け　櫻花

（三）明日は初陣　軍刀を　君もみ空の　航空兵　月にかざせば　散るさくら　意氣で咲け　櫻花　おれも散らうぞ

（四）慰問袋の　まごころに　咲いた銃後の　花の色　意氣で咲け　櫻花　日本男子の　血を沸かす

（五）咲いた櫻が男なら　散ふ胡蝶は妻ぢやもの　意氣で咲け　櫻花　擧國一致の　八重一重

二、粹なネクタイ

（一）パナマ帽子は　今年の流行　粹なネクタイ　きりゝとしめて　心朗にのそらやないか　街は初夏　みどりの小風

（二）二人並べば　きまりがわるい　それでも人目に　見せたいやうな　清いあの娘は　眞晝か薔薇か　匂ふグリーンの　洋服姿

（三）僕が好きだか　たづねて見よか　いつそ聞かずに　つきあひませうか　香る紅茶の　靈のかげに　何を夢みる　可愛い瞳

（四）夜の八時は　別れの時間　時計見上げて　聞タク呼んで　あの娘歸れば　吹く口笛も　甘く哀しい　別れの小唄

三、若き日の胸

（一）朝靄匂ふ　旅路は樂しや　鈴の音かろく　驢馬は行く　峠の小路　小花はゆれて　若き日の　胸はほゝゑむよ

（二）露草わけて　旅路は嬉しや　口笛高く　空に鳴り　運る峰は　おぼろに明けて　若き日の　胸はほゝゑむよ

（三）勝る宿を　はるかに見れば　やさしき女の　思ひか戀か　名殘の色に　朝雲燃えて　若き日の胸は　ほゝゑむよ

俗曲

唄　吳　英　心
唄、三味線　勝　路

（イ）白頭山節（吳）

一、四百餘州に兵進む連戰連勝數知らず、ひらめく御旗に朝日さす

二、朝鮮部隊の武運を祈る半島民衆の心　硝のひびきも踏の音も、雨にぬれませう辛からう

合（國境警備の唄）　颯爽なき勇姿機關銃たてん勵し輝かし　元氣で凱旋なさる日を　半島民衆は祈るなり

三、勝て別れて北支で逢ふて手に手を執りて又別れ

詩吟（前田部隊長作、個成）　如今我亦劍空鳴　立見將軍昔年勲　江南河北戰猶捷　三萬貔貅待下令　今度逢ふ時や九段坂

（ロ）緣かいな（勝路）

一、さてもうるさい人の口、嘘でなんだかんだのと　うらやましいのかそしるのか私しやあくまで　あの人にほれたが自由の緣かいな

二、つゝやはたちの身ではなし人に意見もする樣な惡いことゝは知りながらあきらめられぬが緣かいな

（ハ）佐渡おけさ（勝路）

一、船は出て行く煙は殘る波は磯打つ日は暮れる

二、泣いた涙もかはかぬ間に又も泣かした明烏

三、諦めの惡い奴だよ其手を離せ　永の別れにやしちやおかぬ

講演

歷史から見た勞力奉仕運動

【後七・四〇】　農學博士　小野　武夫

今や非常時局に際會して農村の青年層と壯年層とが銃後の護りを固くすべく或は奉仕團を組織し、又は任意の方法を以て公共の土工作業を手傳つたり、出征兵士留守家族の農業作業を助けたりしてゐるが斯くも農村の中堅層が一齊に起つて邦家の爲に、鄕土の爲に、遂勞に服しつゝあるのは、吾々日本人の血液中に流れてゐる民族的氣風が復現して社會活動となつてゐるのであつて決して之を歐羅巴あたりの勞働奉仕團制度の飜譯輸入とのみ見てはならない。數千數百年來養はれ來つた我日本民族の殊に農村民衆の潛在意識が非常時局に呼び醒まされて斯くの如き活動を呈してゐる事實を歷史的に語つて、現下の勞働奉仕運動の祖國的意義を解明して見たいと思ふ。

家庭講座

夏休みと家庭の心得

【後三時】　京城師範學校教諭　上田樋五郎

兒童にとつて最も樂しい事の一である夏休がやつて參りました。この夏休を最も有意義に過させることは子を持つお母樣方にとつては何よりも大切な事と存じます。唯漫然と遊び過すと云ふのが夏休ではなく、正しい指導目標の下にいろいろ計畫を樹てまして長い夏の休業を適切且效果的に過させるやう工夫されたいものです。兒童各自の個性に適合した精神、身體兩方面の指導につきましてお話致したいと思ひます

商店經營講座（一）

小賣業に於ける競爭と協同

京城高等商業學校教授　【前一〇・二〇】　吉川義弘

我々が日常必要とする商品に就て見るに、互に規模を異にする生產者から提供され、種々の商人を經て我々の手に入るのであります。然して最近の傾向は大規模生產者は勿論中小規模のものまでが組合等の團結によつて勢力を增し生產して行くだけでは滿足せず、其製品の販路維持擴張のため販賣方面にのり出し、又これを重要視するに至つて居ります。斯樣に生產者の製造方法、販賣態樣が變化すれば之が勢ひ配給に當る中間商人の立場にも影響なしには濟まないのであります又社會機構の變化も更に働きかけて、茲に中間商、特に小賣商に縱橫の聯携と協同を促すに至つて居ります。徒らな競爭は小賣業に於ても自他共に傷つけずには濟まず協同の必要が切に感ぜられるのであります

戰地の兄より三郎へ

【後六時】　濱口良光

三郎さんは兄さんが出征してからは毎日學校へ行く前に氏神樣へお詣りしその度に『武運長久』と書いた紙旗を一本づゝ神社の境内に立たせましてその數がもう百本餘りにもなつた、ある朝のことどうしたことか、三郎さんは狹い道から足をすべらして石ころ諸共深い谷間に落ちこんでしまひましたけれど三郎さんはけんの傷かすり傷を負つただけで何ともありませんでした。それから二十日餘り經つて戰地の兄さんから手紙が參りましたその手紙によりますと兄さんも三郎さんが谷間にすべり落ちたその日その時に敵の一齊射擊を受けて谷間に落ち込んだことが詳しく書かれましたとても嬉しい戰であつたさうですが今晩はその手紙を三郎さんに代つて讀んでみませう

圍碁原稿未着に付　本日休載